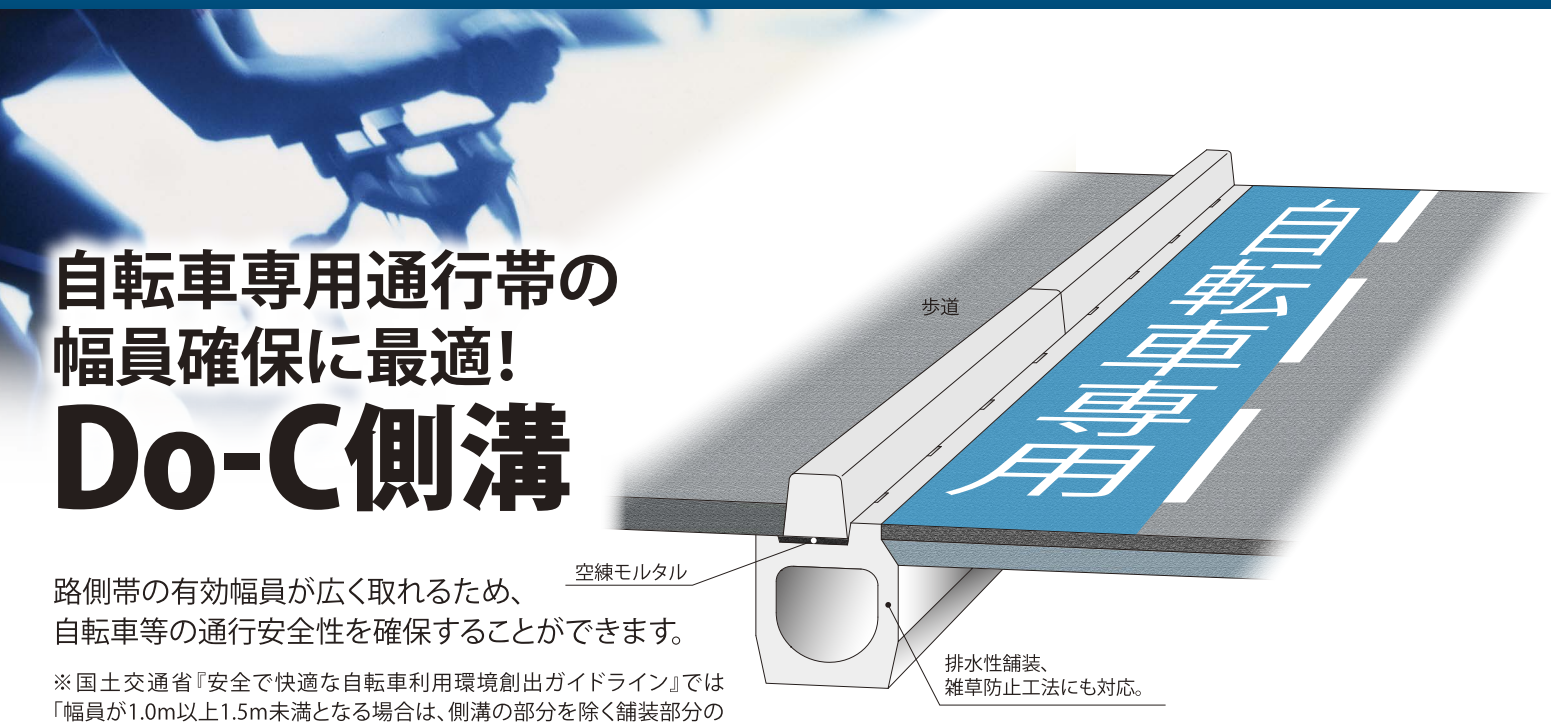
自転車通行帯対応型 Do 側溝

Do-Cycle側溝



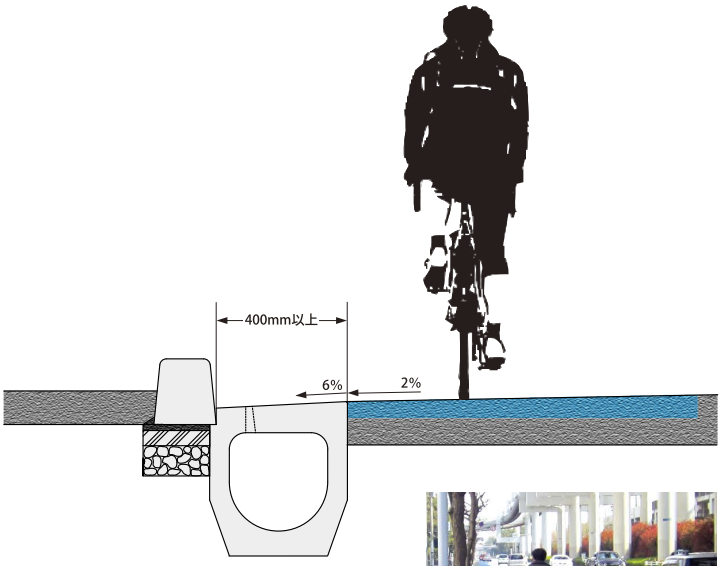
自転車専用通行帯の幅員確保に最適！

Do-C側溝

路側帯の有効幅員が広く取れるため、
自転車等の通行安全性を確保することができます。

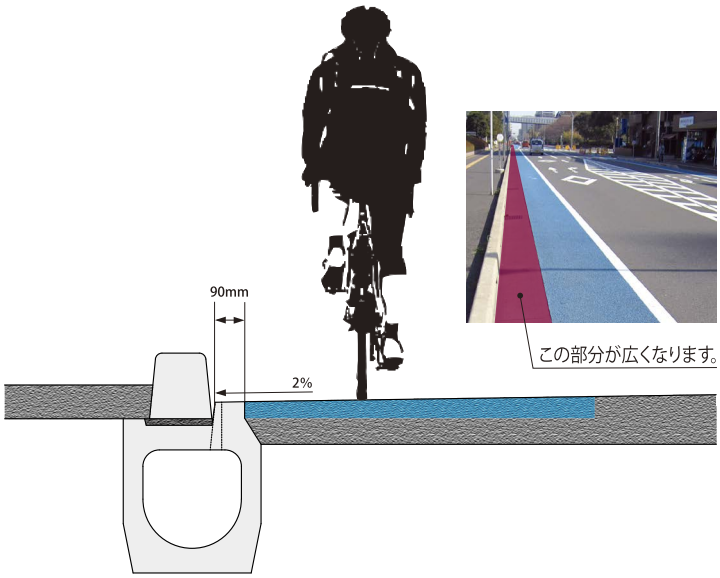
※国土交通省『安全で快適な自転車利用環境創出ガイドライン』では「幅員が1.0m以上1.5m未満となる場合は、側溝の部分を除く舗装部分の幅員を1.0m程度確保することが望ましい。」とされています。

従来の側溝



従来の側溝では、横断勾配が変化し製品のエプロン幅が広いために、充分な自転車等の通行空間確保に課題がありました。

Do-C側溝



新設計によりエプロン幅を減少！横断勾配の均一化を実現し自転車等の安全な通行空間確保に威力を発揮します。

館山コンクリート株式会社　☎ 0470-22-1589